

三三二七番

葦原の 瑞穂の国に 手向すと 天降りましけむ

五百万 千万神の 神代より 言ひ継ぎ来たる

神奈備の 三諸の山は 春されば 春霞立ち

秋行けば 紅にほふ 神奈備の 三諸の神の

帯にせる 明日香の川の 水脈速み 生しため難

き 石枕 苔生すまでに 新たな夜の 幸く通は

む 事計り 夢に見えこそ 剣大刀 斎ひ祭れ

る 神にしまさば